

平成20年9月4日
原子力安全対策課
(20-44)
<17時記者発表>

敦賀発電所1号機の出力量低下について (原子炉給水ポンプの点検)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成20年8月中旬から、原子炉給水ポンプ（全3台中2台運転）*¹のうち、運転中のA号機のメカニカルシール部付近から通常値（10cc/分未満）を上回る漏れが認められた。このため、監視を強化していたが、増加傾向が続いているため、同ポンプを停止して当該部の点検を行うこととし、本日13時31分に待機状態にあったC号機を起動した後、14時07分にA号機を停止し、現在は定格熱出力一定運転を継続している。

このポンプ切替操作に伴う現場点検において、今回起動したC号機の補助油ポンプ*²のメカニカルシール部から、潤滑油の漏えい（約40 cc/分）が確認された。

今回の潤滑油の漏えいは、C号機の運転に直ちに影響を与えるものではないが、同油ポンプの点検・修理を行うためには、C号機を停止することから、本日18時より出力降下を開始し、出力約50%の状態とした上で同油ポンプの点検・修理を行う予定である。

今回の事象による環境への放射能の影響はない。

*1：原子炉給水ポンプ

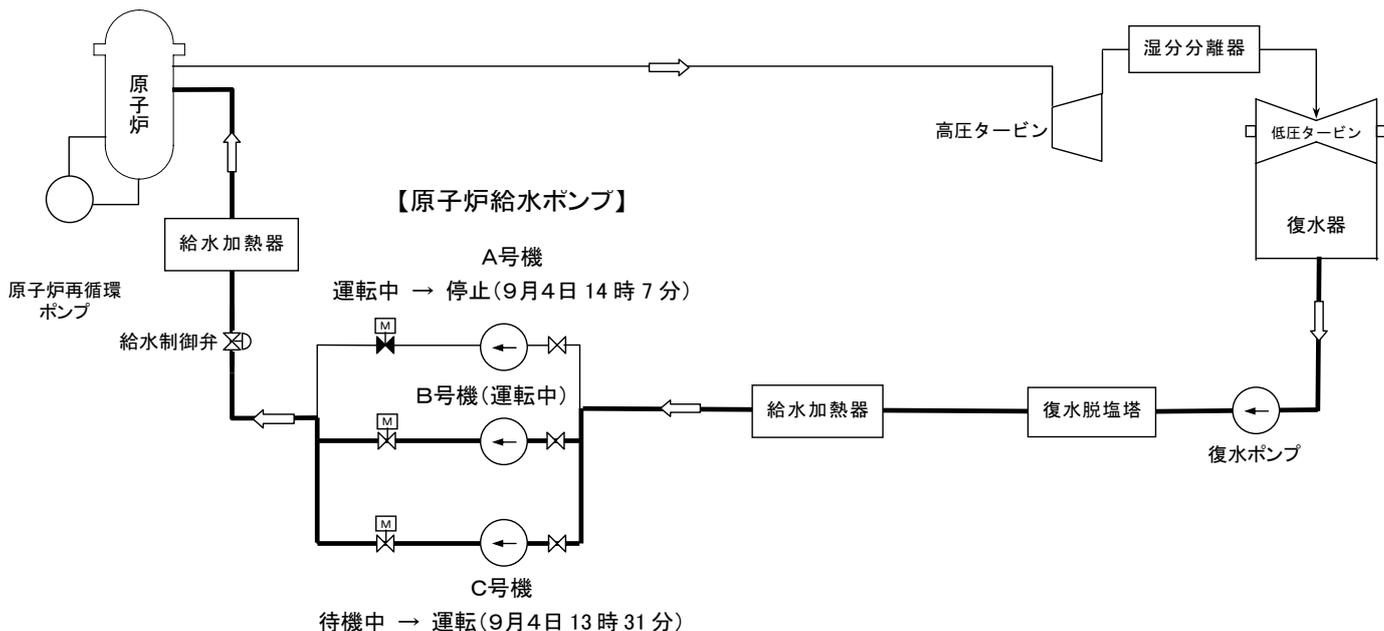
原子炉に冷却水を供給するポンプで、3台（A，B，C）ある。運転中は2台が運転、1台が待機している。

*2：補助油ポンプ

原子炉給水ポンプ待機中に軸受に潤滑油を供給するためのポンプで、原子炉給水ポンプ運転中は停止している。

問い合わせ先(担当：神戸)
内線2354・直通0776(20)0314

原子炉給水ポンプ系統概要図



原子炉給水ポンプ潤滑油等系統図

